

●山武長生夷隅保健医療圏の決定について

千葉県では医療圏の見直しがあり、山武市は「山武長生夷隅保健医療圏」に組み込まれた。千葉県ではこの地域に、平成22年度までに救急医療センターを整備したいとしている。山武地域を考えたとき、九十九里地域医療構

想の破綻は後悔することにならないか。

市長 成東病院150床を残すという確認を認めないことが、この計画の破綻の一因だが、私の立場は必ずと救急医療センターは必要と

考えて、今までやってきたつもりだ。成東病院で急性期の医療をしっかりとやっていくのは限定されてくるので、センター病院との連携は将来でてくると思う。

●成東駅北側周辺整備と道路計画について

成東駅北側の整備について、過去の経緯を調べてみたが、同じ議論の中で30年という時間だけが経過してきたと思われる。

行政としてこの地域をどうするか、方向性を示してほ

しい。

市長 都市計画を策定中なので方向性はまだ答えられないが、熱心な推進者が

いれば実現に向けて一つの大きな力になると思う。

市長みずから開発の旗振り役になる意欲はないか。

市長 私としてはまだまだ慎重に考えざるを得ないと思っている。

土地整備がだめなら市道の整備、都市計画道路の北側分の先行工事をお願いしたい。

市長 かなりの予算が伴うので、駅裏の道路については何らかの機会を得て、開発と絡めて整備していきたい。

駅裏の用地を取得する考えはあるか。

市長 駅裏の用地を取得する考えはあるか。

市長 駅裏の用地を取得する考えはあるか。

市長 将来に備えて用地の取得は可能だと考えている。

●バイオマスタウン構想について

千葉県内初めてとなるバイオマス推進室が設置されたが、新エネルギービジョン策定について伺いたい。

経済環境部長 太陽光、風力、バイオマス等が新エネルギーという分類だが、その中のバイオマスを重点に置き、山武杉等の木質系と家畜ふん尿等の微生物関係との連携を図って研究していきたい。

洞爺湖サミットでは、二酸化炭素排出量削減が問題となっているが、山武市としてはその数字的なものは持っているのか。

経済環境部長 平成18年度資料からの試算ですが、山武市民が1年間に呼吸により排出する二酸化炭素の量は約2万トン、市内の山武杉が1年間に吸収する二酸化炭素の量が約1万トンになります。

バイオマス事業に関わる団体をどういう形で支援していくか。

市長 市全体にバイオ的な考えを広げてバイオマスタウン構想をつくり上げていきたい。市としては、バイオマス資源の需要の喚起を考えている。

先日新政会では、バイオマスタウン先進地の岡山県真庭市へ視察に行った。ここでは、石油のかわりに木材ペレットを燃料としたストーブの普及に努めているが、山武市はどうお考えか。

市長 木質バイオマスの利活用の一環として暖房に取り入れていこうと、成東東中学校にペレットストーブの導入を考えている。

燃料が高騰しているが、さんぶの森元気館の収入と支出を伺いたい。

市長 平成19年度の歳出は1億3,384万2千円、歳入は8,468万5千円、一般財源から4,915万6千円を支出している。

一般質問の内容は、各議員より提出された原稿をそのまま掲載しました。



地球温暖化防止対策（山武市役所本庁前グリーンカーテン）